

水理学Ⅱ 演習のルールについて

水理学Ⅱ 演習 担当者 石川・後藤

① 講義運営方法

演習問題を中心に講義を行います。演習問題の解答については、講義の一週間以内（原則金曜日）に後藤の HP（<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp/~gotoh/index.html>）上に UP します。

連絡事項は講義中にアナウンスするほか、掲示および後藤の HP で通知します。

② 演習の学習方法について

- ・ 復習を基本にして下さい。講義で説明した演習問題（配布課題）及び講義中に提示した課題（板書）は必ず復習して下さい。これらの問題は必ず解けるように学習して下さい。
- ・ 水理学Ⅱ講義（安田教授または高橋准教授）のノートを必ず持参して下さい。講義中に基本的な確認事項は、このノートに加筆すると講義に集中できます。講義中に基本的なことを理解するようにして下さい。
- ・ 数学（文字式の計算、微分積分）、物理（ニュートン力学）の学力不足の方は、水理学を学ぶ過程で、これらも習得して下さい。理系大卒として必要な基礎学力です。
- ・ 参考文献として、以下のものを挙げておきます。

◎微積分が苦手な方⇒「微分積分」 矢野・石原著 裳華堂（一般教養課程の教科書）

◎計算力の弱い方⇒「数学の基礎」 矢野・石原著 裳華堂

◎物理（力学）が苦手な方⇒「初歩の物理」 小野著 裳華堂

◎数学,物理,構造力学,水理学の基礎を学ぶ⇒「例題で学ぶ基礎の力学」八田著 丸善

③ 試験について

中間テストは1回を行います。（点数の公表はしません。）

④ 課題の提出

演習問題は各人の水理学専用ノートに解いて下さい。

⑤ 講義の際に必ず持参するもの（授業中、友人との貸し借りを禁止します。私語の原因となります。）

- ・ 教科書、水理学Ⅱ講義ノート
- ・ 水理学演習専用ノート（ノートの提出はありません。）
- ・ 電卓（使用方法は自分で習得すること）
- ・ 筆記用具（定規も）

⑥ 講義中の約束（社会人として、最低限のマナーです。）

- ・ 私語をしない。
- ・ 立ち歩きの禁止（体調が悪く、席を外す際は手を上げ許可を取って、他の学生に迷惑を掛けないように退席して下さい。）
- ・ 最後尾の席および3人掛けを使用しないで下さい。
- ・ 携帯電話の使用禁止（机の上に置かないこと）

以上